

実践する、実践できる サーベイランスin新潟

2013年9月14日土曜日 10:00~16:30

新潟県新潟市 ガレットソホールで開催しました

- 参加者：14名

秋風が心地よい新潟で、充実した有意義な
研修となりました。



「感染管理で活用できる 統計学の基礎」



東京大学医学部附属病院

臨床研究支援センター

中央管理ユニット 特任専門職員

藤田 烈先生

実践できる感染管理に必要な統計手法について、分かりやすく話し下さいました。

参加者限定で「カイ2乗検定」と「フィッシャーの直接確率検定」のExcelファイルを提供していただきました。

「障害者病床における CA-UTIサーベイランス」

新潟県厚生農業協同組合連合会
三条総合病院

小柳浩子先生

実際に行なわれているCA-UTI
サーベイランスを計画からフィード
バックまで具体的にお話し下さい
ました。参加者から取り組みへの
参考にしたいとの感想もありました。



演習：BSI・UTI・SSIの事例を基に グループワークを行ないました。

【演習アドバイザー】(敬称省略)

BSIグループ:3名

馬越千恵 愛媛県立今治病院

UTIグループ:5名

小柳浩子 新潟県厚生農業協同組合連合会
三条総合病院

SSIグループ:5名

崎浜智子 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター
水戸協同病院



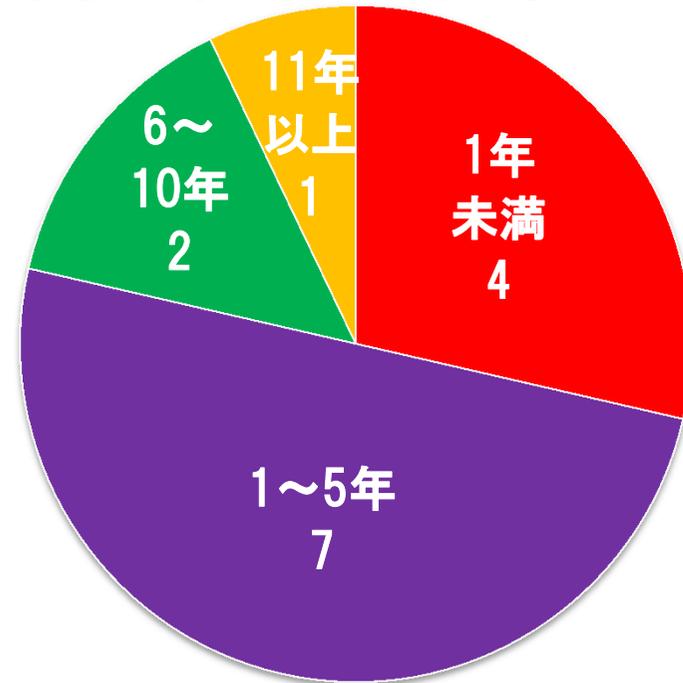
アンケート結果

～ご協力ありがとうございました～

- 参加人数 14名(途中退席1名)
- アンケート回収 14名 (回収率100%)

認定資格取得後の年数

1年未満	4人
1～5年	7人
6～10年	2人
11年以上	1人
合計	14人



演習について

大変参考になった 11人

回答なし 3人

※「それほどでもなかった」「参考にならなかった」の回答はありませんでした。

- ☆適宜、アドバイスを頂くことができ、よかったです。
- ☆現場に帰ってからもう一度データを統計学的にフィードバックできるようにまとめてみようと思った。
- ☆フィードバックの方法を具体的に学べた。
- ☆リスク因子についてのデータのまとめ方がわかりました。
- ☆判定基準、解釈、細かいところが理解できた。
- ☆実際の判定、フィードバックの演習ができて良かったです。
- ☆判定が困難な事例に対してや、フィードバックで困った点など、アドバイザーの方のアドバイスがありがたかったです。
- ☆迷っている部分を話しあい、指導を受けられた。